

春日井写真同好会 第122回例会記録

平成21年2月10日13:00~15:00
松寿会クラブ室

参加者

青木 小林
中井 長谷川
福田 堀田
村田 吉田
8名



何故か珍しく披露される写真がない例会となりました。

そこで、四方山話しに時間を過ごす。

昔からあったものなのに

前回のレポートで、“昔から「覆い焼」や現像の処理で露出調整をすることは常套手段であった”と書きました。ところが先日テレビで、名前を存じ上げない年配の写真家でしたが、デジカメは写真の神髄？を汚すモノだといった意味のことを言っていました。今ひとつ何をおっしゃりたいのかハッキリとは判りませんでした。あれこれ手を加えるなどということだったような……。

絵画は創作の世界だと言われますが、写真だって同じことで、時代に見合った創作の表現があって当たり前のことではないかと思ったりします。そこで私としては、みなさんにドンドン自分なりの新しい写真を創っていただきたいナと……。

左は新聞で紹介されたカナダの写真で、何か賞を得たモノとか。これは誰が見ても合成したモノと判断できます。

但し、合成するにも技術的には大変だと察せられ、プロの技だと思える出来です。

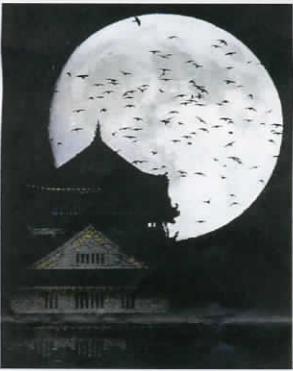
左下は、岐阜城を背景に中秋の満月を撮ったという中日新聞の写真ですが、撮影データには600mmの望遠でとある。

ところが、右側の雀の写真は600mmで撮ったモノで、背景の月の大きさを見ると、中日の写真は合成だと容易に判断されます。ところが記事のどこにも合成とは記されておらず、月面にシルエットで見せる多数の鳥の影も合成としか考えがたい。敢えて合成と断る必要もないということなのでしょう。(この合成は難しくありません)

スポット測光を日常のツールに

昔、ミノルタが世界で初めてTTL測光を開発したときに、平均測光と中央部重点測光を選択できるようにしたと思いますが、中央部重点測光は無視されていたと思います。

ところがデジカメができて2、3年経った頃でしょうか、当然のように平均測光とスポット測光が併設されるようになったと記憶しています。今は、一眼デジでは平均・中央部・スポットと3設定、コンパクトは平均・スポットの2設定が定番になっています。



折角のスポット測光を使わない手はないと思います。

そこで、今回、福田さんから送信していただいた画像を無断でサンプルにさせていただいて、重ねてスポット測光の価値を認識してやっていただきたいと思います。

柏原の徳源院の三重の塔ということ
です。上段の2枚が撮ったままの原画
ということで、左は明らかに逆光が被っ
ていますが、右はそうではないかと。

この2枚を、レベル補正・レイヤ補
正などであれこれ補正を試みましたが、
下段の状態が落ち着いたところで、い
ずれも残念な結果でした。


右側の場合は、空の部分の測光が勝っ
たように見えたのですが、処理してみ
ると、これも逆光が被っていたことが判
りました。加えて、右の場合は塔の部
分が真っ暗ですので、これを明るくす
ると強いノイズで画像が荒れていま
した。ノイズ除去の作業をしてもどう
にもなりません。

いずれも、逆光がレンズに入らない
位置を探し、塔の部分にスポット測光
で撮れば綺麗に塔が撮れたと思いま
す。

参考に。左の塔の原画は露出補正を
掛けたそうです。光がレンズに入ってい
なかつたら救えたかも知れません。

でも、これは露出補正を掛けるシーン
ではありませんので注意してください。





 左の2枚は、先日あった松寿会の地区総会のも
ですが、窓に下ろしたブラインドが、ブレードの光反
射で相当強い明るさでした。そのまま撮っては×。


通常の測光では、背景が明るすぎて、全ての人物が当然
黒子になってしまいます。ノイズの元にもなります。



このようなときは、全てスポット測光で撮影し
ます。

どこをスポット測光するかで結果が変わってくるこ
とがありますので注意が必要です。

上では、見渡したところ、狙うところは説明している墨谷
さんの顔しかありません。この小さな彼の顔に  スポ
ットマークを合わせて半押しし、カメラを振ってフレー
ミングします。間違っても参加者の頭の黒髪を測光しな
いように。全体が白い画面になってしまいます。人物を
主体に撮るときは  を顔に
合わせることを肝要です。(参考に春日井支部のHPを
みてください)

 どのメーカーのコンパクトでも一眼でも、測光の切
換はボタンなどで容易にできる
ようになっているはずですので、考えなくても使える
ように慣れておいていただきたい
と思います。

カメラの画質設定は

昔は「フィルムが勿体ない」という気持ちがありましたが、デジカメではその思いは捨ててください。カメラで、画質の設定をJPEGで最高にしてください。一番TopはRAWで、これは全く圧縮しないもので、一切の加工を加えていないモノでプロ用と考え、使わないようにした方が賢明です。(特別なソフトを使って処理します)

次のSHQ (スーパーファイン) →圧縮率1/2.7のモノか、次のHQ (ファイン) →圧縮率1/4程度にしてください。例えば、1000万画素のカメラとして、使うメモリが1Gなら、SHQでは約120枚、HQの1/4圧縮で約190枚の写真が撮れることとなります。これだけ撮れば十分ではないでしょうか。不安なら、予備に一枚1Gのメモリを用意しておけば問題ないでしょう。

設定の中にSQ(ノーマル)というのがある、これには画像サイズと圧縮率の組み合わせの異なるモノが20種ほどあって、選び方で相当画質が変わってきます。

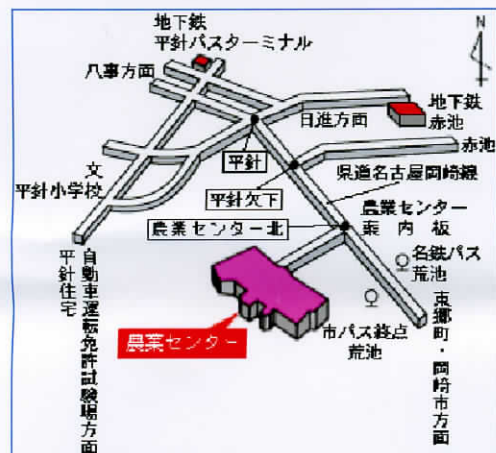
* (……) 括弧内の表示名はキャノンなどの場合で、他の表現もあると思います。

問題はメーカーにあって、SQ【スタンダード・クオリティ】とかノーマルなどと表示しているので、多くはこれで良いのだと思って、これに設定しているのではないかと思います。1Gのメモリに1万枚撮れるセットをされている方はないと思いますが。

これからは、画像のレタッチは当たり前のことになるとと思いますが、その際、元々の画像の質が悪ければどうにもなりませんので、設定は、RAWを除き、一番上か、その次程度の最小圧縮率(拡張子JPEG)に設定して使うようにしてください。

次回、第123回の例会は

久しぶりに梅を撮りに行こうと言うことになりました。行き先は名古屋市の農業センターで、この目玉の一つ、しだれ梅を撮りたいと思います。



- 地下鉄鶴舞線「平針」下車、徒歩20分
 - 地下鉄鶴舞線「平針」から市バス荒池行「荒池」下車、徒歩7分
 - 地下鉄鶴舞線「赤池」から名鉄バス祐福寺行「荒池」下車、徒歩7分
- 名古屋市農業センター
天白区天白町平針黒石

TEL (052) 801-5221



☼にしてスポット測光にするか、☼があるカメラならそれにして、花そのものを狙うと芸術写真??が撮れるかも知れませんので、試してみてください。最高画質で!!

当日の集合は10:00、JR鶴舞下車、進行方向の階段を下りて、地下鉄鶴舞駅の改札口前で集合とします。なお指導館の中で人間の餌になるモノを売っているようです。



村田 電話 ↓

0568-81-8283

とき 平成21年3月10日(火)10:00 地下鉄鶴舞駅改札前集合
ところ 名古屋市農業センター